

診療情報を集めて行う臨床研究に関するお知らせとお願い

熊本機能病院（総合リハビリテーション部）では、「拇指手根中手関節症に対する拇指中手指節関節非固定スプリント療法の効果」の研究に取り組んでいます。

研究の概要

拇指手根中手関節症（拇指 CM 関節症）は、40～50 歳以降の中高年の女性に多い変性疾患です。症状として、親指の付け根の痛みとそれに伴う握力・つまむ力の低下などが出現し、親指の機能低下を引き起します。治療においては、保存療法が第一選択とされており、スプリント療法を実施することが勧められています。当院では、以前までは親指の付け根の関節と親指の第 2 関節のどちらも固定するスプリントを作製していました。しかし、日常生活上や仕事上での使いにくさを訴える方も少なくありません。その為、痛みの改善及び親指の第 2 関節の可動性低下の予防や日常生活上での使用状況の改善が図れるのではないかと予測し、親指の付け根の関節を固定したまま親指の第 2 関節を動かすことが出来るスプリントを導入しています。今回、当院で導入しているスプリントの効果を検証するために研究を計画しました。

対象となる方

拇指 CM 関節症と診断を受け、拇指第 2 関節固定スプリントを作製し装着後 3 ヶ月まで経過した方

対象調査期間

2019 年 1 月 1 日 ～ 2023 年 12 月 31 日

利用を開始する予定日

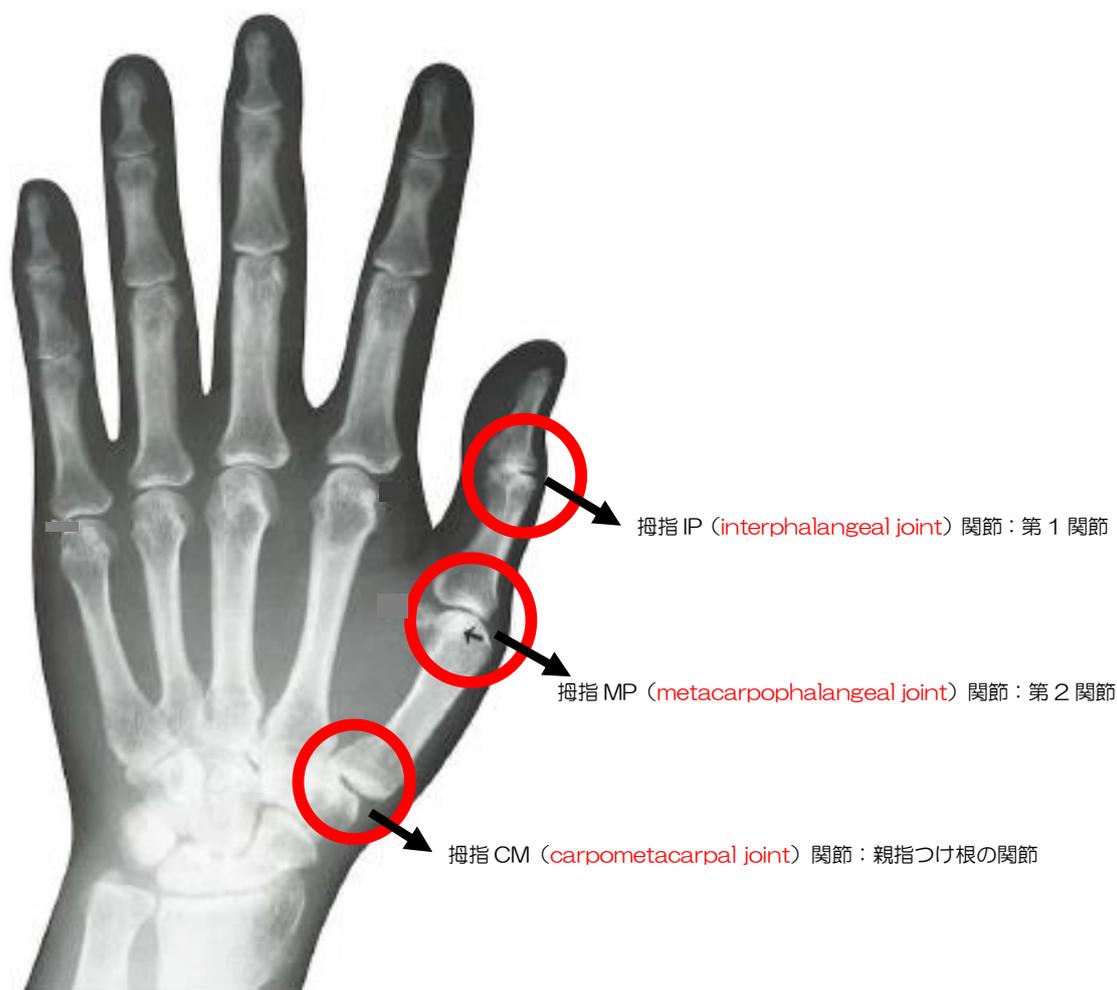
研究実施許可日から 2 週間後

研究期間

研究実施許可後 ～ 2025 年 3 月 31 日

利用する診療情報

性別、年齢、X線進行度（Eaton 分類）、疼痛(Visual Analogue Scale : VAS)、関節可動域(拇指 CM 関節：掌側外転、橈側外転 拇指第 1 関節・拇指第 2 関節：屈曲、伸展)、握力、ピンチ力、HAND-20



研究機関の名称：熊本機能病院 総合リハビリテーション部

研究責任者氏名：三宮 克彦

個人情報の取扱いについて

診療情報の利用に関しては、個人情報は全て匿名化されてから解析されますので個人情報が漏れることはありません。また研究結果は、学術雑誌や学会等での発表に使用させて頂くことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。

上記の研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき実施しております。この研究にあなたの診療情報が利用されることに同意できない場合は対象と致しませんので、お手数ですが下記のお問い合わせ先にご連絡ください。また、ご不明な点があるとき、または研究計画等に関する資料をお知りになりたい場合は他の対象者の個人情報や研究全体に支障となる事以外はお知らせすることができますので、ご連絡ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用させていただくことに対して同意が得られたものとさせていただきます。また、研究にご協力いただけない場合でも診療上の不利益を被ることはありません。

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称

社会医療法人寿量会 理事長 米満弘一郎

お問い合わせ先

熊本機能病院 総合リハビリテーション部 作業療法士 松本 梨子

T E L : 096-345-8111(内線 2565 又は内線 1856)

F A X : 096-345-8188